長期総合計画後期基本計画を策定・議会へ提案

将来像「人も元気　まちも元気　新鮮都市いとしま」と目標人口10万2千人の達成に挑戦する今後5年間の計画を策定

■将来にわたって安定的な行政サービスを提供するための施策を計上

【ポイント】
◎市内へのしごとづくり
◎子育て・教育環境整備
◎郷土愛・意識の醸成
◎市民協働のまちづくり
◎移住・定住支援
◎ブランド糸島の拡大

■5つの重点プロジェクト

◎前期基本計画で設定していた重点プロジェクト「子育て支援」「校区まちづくり推進」「九州大学を生かした地域づくり」は後期基本計画にも継承
◎新たに「しごとづくり」と「移住支援」を追加

しごとづくりプロジェクト

糸島で働き続け、活躍できる場を創出することで、地域経済の活性化と人口増の好循環を促す。
市外からの企業誘致のみならず、地元産業の担い手育成や成長産業化を進め、九州大学をはじめとした地域資源を活かし、組み合わせてしごとをつくる。

【取組例】
◎企業・研究所の誘致（食品関連）
◎農林水産業の担い手育成
◎商工業の担い手育成
◎テレワークや創業支援
◎女性・高齢者・障がい者の就労支援

移住支援プロジェクト

市外からの移住を促進し定住につなげ、すでに始まっている本市の人口減少を少しでも食い止めることが求められる。
「糸島での豊かなくらし」を大都市圏をはじめ広く情報発信するとともに、移住者を受け入れる環境づくりを進める。

【取組例】
◎糸島暮らしの情報発信
◎宿泊体験・宿泊観光推進
◎定住コーディネーター設置
◎空き家など住宅ストックの有効活用
◎公園・スポーツ環境等の整備

平成28年度は、27年度に策定した計画を実行へ移す新たなスタートの年に

平成28年度一般会計予算

合併後最大の350億6千万円

○前年度比17億8千万円増（5.4%増）の積極予算

◎市民が豊かさを実感してもらえるよう、さらなる満足度向上を目指した予算
◎「子育て・教育環境の充実」「暮らし・安心・都市基盤の整備」「しごとづくり・産業振興」「移住支援・定住促進」を積極的に取り組む

■歳入（見込み）
- ➢市税収入：3億円増
- ➢地方交付税：10億2千万円減
- ➢国県支出金：7億3千万円増
- ➢寄附金：1億１千万円増
- ➢市債：1億6千万円増

⇒自主財源比率は約33%

■歳出（見込み）
- ➢扶助費：4億2千万円増
- ➢公債費：1億9千万円減
- ➢繰出金：3億9千万円増
- ➢投資的経費：6億3千万円増

■貯金・借金（見込み・一般会計）
- ➢基金残高：5億9千万円減
- ➢市債残高：10億4千万円増

【子育て・教育環境の充実】
◎病児保育サービスの開始
◎子ども医療費サービス拡充
◎子育て世代応援サイト“いとネット”
◎学習習慣定着事業・運動能力向上事業
◎加布里小学校大規模改造
◎波多江小・前原南小トイレ改修
◎いとしま天文台講演会事業

【しごとづくり・産業振興】
◎ふるさとテレワーク推進事業
◎女性のチャレンジ応援事業
◎就農支援事業・新規就農定着事業
◎新規起業者応援事業
◎農商工連携事業
◎木材市内活用サプライチェーン構築
◎漁港整備事業

【暮らし・安心・都市基盤整備】
◎防災行政無線デジタル方式移行事業
◎小学校区単位健康づくり事業
◎消防団ポンプ車・分団詰所整備事業
◎橋梁の点検・架け替え事業
◎カーブミラー点検事業
◎笹山公園整備事業
◎深江駅、波多江駅、新駅関連整備事業

【移住支援・定住促進】
◎九州大学関係者定住促進事業
◎移住体験宿泊事業
◎マイホーム取得奨励金
◎定住コーディネート事業
◎定住促進情報発信事業
◎ホームページリニューアル事業
◎糸島観光大使事業

積極予算の中でも財政規律を常に意識し、堅実な行財政運営に努める

糸島の「食」を全国へ向け発信

①阪急うめだ本店催事 「春の九州物産大会」に糸島から6事業者出店

2月24日～3月1日

阪急うめだ本店で北海道展に次ぐ2番目の売上を誇る催事で糸島をピックアップ

◎全国売上第2位の阪急うめだから糸島へのオファー
- ➢昨年11月に担当者が直接糸島へ
- ➢市が市内を案内（あまおうを使ったスイーツを希望）

◎関西で糸島の「食」が取り上げられることに意義
- ➢これだけ大きく関西で取り上げられるのは初めて
- ➢首都圏でのプロモーションが全国的な認知度向上へ
- ➢「歴史」に加え「食」のプロモーションにも手応え

九州一円から90店舗が出る中、糸島から6事業者が出
- ➢あまおうソフトクリーム（糸島みるくぷらんと、西区周船寺）
- ➢あおおうスムージー（惣菜畑がんこ、加布里）
- ➢あまおうイチゴ大福（糸島だんご本舗、二丈武）
- ➢あまおうソルベ（ロイターマーケット、志摩芥屋）
- ➢つまんでご卵ロールケーキ（みどりの農園、志摩桜井）
- ➢糸島豚コロッケ（糸島正キ、前原）⇒福銀フェア商談会から

②高島屋カタログ通販「ローズキッチン」3月号で糸島特集

2月29日～3月28日

百貨店ブランドイメージ№.１の高島屋のカタログ通販で糸島特集

東京事務所サービス

◎「ローズキッチン」は１都７県で展開会員数２万人
- ➢バイヤーが糸島を2回訪問し、事業者と直接対話
- ➢糸島の事業者は、トップバイヤーとの商談や新しい商品開発へのヒントを得るとで、経験値が向上。髙島屋のオーダーにも柔軟に対応

◎東京事務所サービスによる人脈を活かす
- ➢直接売り込むことが難しいセントラルバイヤーに接触
- ➢バイヤーに糸島への訪問を促し、糸島を強力にPR

糸島の７事業者の商品が採用
- ➢天然真鯛のおどり干し鯛めし用（福吉水産、二丈吉井）
- ➢天然乾燥わかめ・ひじきセット（山下商店、志摩師吉）
- ➢連子鯛の粕漬（やますえ、多久）
- ➢野菜の粕漬けセット（かぶらや、志摩松隈）
- ➢糸島豚のメンチカツ（ミートDELICAクローバー、前原東）
- ➢つまんでご卵ロールケーキ（みどりの農園、志摩桜井）
- ➢しょうゆ生成り、（ミツル醤油醸造元、二丈深江）

「糸島」の発信が、新たな生活スタイル（暮らし・仕事）の提案につながる

いとしまトピックス

①地方創生シンポジウムin糸島を開催 （ふるさとテレワーク事業）

テレワークやコワーキングスペースという新しい働き方の提案　**2月27日**

◎開催日：2月27日（土曜日）
◎開始時刻：13時30分
◎会場：福岡銀行糸島支店2階セミナールーム
◎定員：90人（参加無料・先着順）
◎主催：糸島コンソーシアム
（日本テレワーク協会、㈱ランサーズ、西日本新聞社、九州大学、福岡移住計画、糸島市）

1　基調講演
➢演題：「地域を盛り上げるデザイン的思考」
➢講師：㈱自遊人代表取締役・クリエイティブディレクター
岩佐十良（いわさ　とおる）氏

2　パネルディスカッション（月形市長もパネリストに）
➢演題：「市民・移住者が共に創る糸島の未来」
➢コーディネーター：九州大学大学院教授　坂口光一氏

岩佐十良氏

職・住・余暇が近接する“糸島スタイル”を発信したい

②「さくらいとしまつり」で橋本幹造料理長がクッキングライブ

糸島でミシュラン1つ星日本料理店料理長と糸島食材がコラボ　**3月20日**

◎イベント名：「第2回さくらいとしまつり」
◎開催日：3月20日（日曜日）
◎会場：櫻井神社
◎主催：さくらいとしまつり実行委員会
（代表：野見山マコ氏）
◎後援・支援：糸島市

日本料理店「一凛」料理長　橋本幹造　氏
◎糸島市東京事務所サービスの事業の一環で、平成27年3月に伊勢丹新宿本店キッチンステージで糸島食材を使ったメニュー「糸島定食」を監修
◎メニューの構想・食材選びで、糸島を訪れ、多くの作り手と交流。今でもその交流は続いている

食卓を豊かにするヒントにあふれた痛快なトークと一流の調理実演で、糸島食材にさらなる輝きを与えてくれることに期待